

子育てハガキ通信

よちよち

Let's Try!『語りかけ育児』実践ルール**親の応答力が子育てのカギ**

語りかけ育児は、一方的に話すのではなく、子どもの発する言葉や態度に答えること、親の応答する力が大切です。赤ちゃんが「うーうー」と言ったら「うーうー」と繰り返す。笑いかけたら笑い返す。泣いていたら「どうしたの?オムツ替えようね」などと応じる。子どもから投げられたボールを打ち返すイメージで、キャッチボールを心がけてみましょう。声や言葉を発すると親や周囲の人々から反応が返ってくるという体験の積み重ねが、人に働きかける喜びを感じるようになり、これが人とのコミュニケーションが好きになるスタートなのです。

お話できるようになると「これなあに?」と何でも質問して来たり、こちらが忙しいのもおかまいなしに「聞いて、聞いて!」と言ってくることがあります。できるだけ手を止めて、子どもの方に体を向けて耳を傾けてください。といっても、忙しいときもありますよね。そんなときには「待っててね」と伝えたり、「なんだろうね」「○○ちゃんはわかる?」逆に聞いてみたり、まずは応答することが大切。リアクションがあると『自分を受け止めてくれた』と、安心するのです。

話しかけたら応じてくれるからこそ会話が楽しくなるし、人への信頼感にも繋がってきます。親の応答力を磨いていきましょう。

NPO 法人 JAM ネットワーク代表 高取しづか

幸せになれる子に育てたいあなたへ <http://ameblo.jp/t-shizuka/>

参考『言葉の発達に差がつく!語りかけ育児実践ルール』(宝島社)